

高い遮音性能が求められる空間に SPD シリーズ

いくら頑強な遮音壁でも、開口部からの音漏れを防ぐ事はできません。

扉から音が漏れてしまえば、必要な遮音を確保できません。

防音扉は、界壁の遮音性能確保のカギを握る重要な部分です。ですからソナは、遮音にこだわったオリジナル防音扉『SPD シリーズ』を開発、自社製作をしています。

『SPD シリーズ』は、高い遮音性能が求められるコントロールルームや録音ブース、実験室などに数多くの実績があります。

仕様	SPD 45(L/R)
サイズ(有効開口)	W900×H2000[mm]
扉厚 / 枠見込み	45[mm] / 150[mm]
重量	扉105[kg] 枠75[kg] 付属品13[kg]
遮音性能 $D_{p,r}$	$D_{p,r}$ -30
遮音性等級 T	T-3
材質	鋼板, 扉エッジSUS
仕上げ	錆止め塗装 (上塗り塗装, 化粧シートなどで仕上げをして下さい)
丁番	ピボットヒンジ
ハンドル	ローラーハンドル SH-02
沓摺り	SUS_HL
ドアクローザー	日本ドアーチェック製造(株) NEW☆STAR PS7003 (ストップ付)
カギ	美和ロック(株) シリンダー錠_DA-1
戸当たり	別途
開閉形式	片開き (L/R)

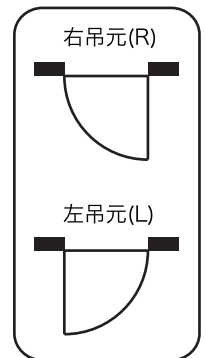
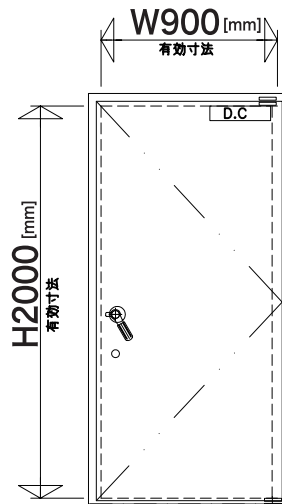
■遮音性能 $D_{p,r}$ (特定場所間音圧レベル差等級 [JIS A 1419 (2000) 附属書 1 による $D_{p,r}$]
日本建築学会編「建築物の遮音性能基準と設計指針」による空間音圧レベル差 D-30 と同等)

■遮音性等級 T (JIS A 4702 による遮音性等級)

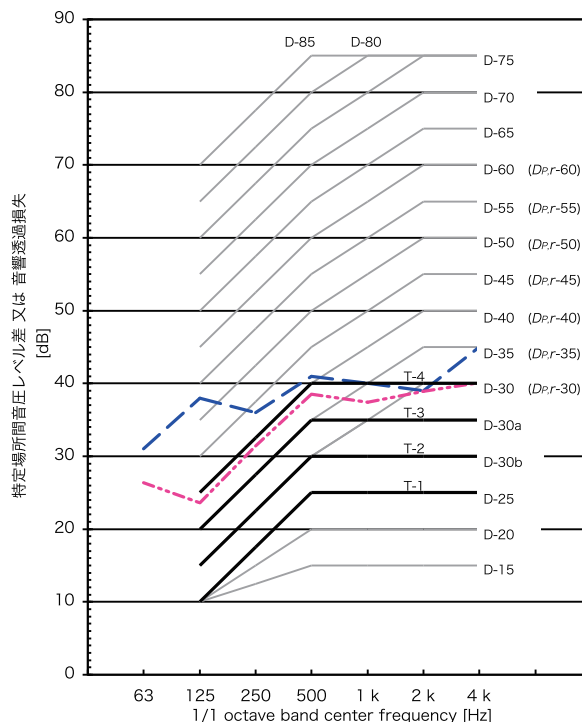
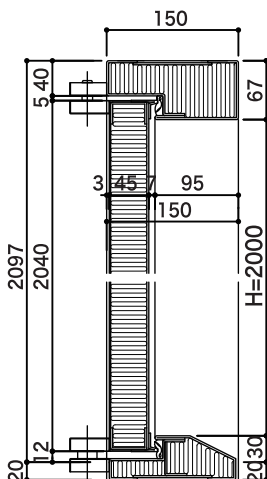
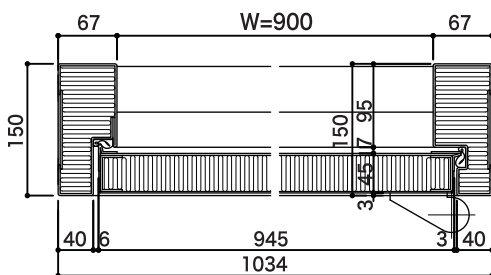
※各遮音性能(等級)は現場での測定例であり、保証値ではありません。



ソナオリジナル
ローラーハンドル
SH-02



開閉仕様



破線 1 ————
特定場所間音圧レベル差
 $D_{p,r}$ -30 (特定場所間音圧レベル差等級 [JIS A 1419(2000) 附属書 1 による $D_{p,r}$], 日本建築学会編「建築物の遮音性能基準と設計指針」による空間音圧レベル差 D-30 と同等)

破線 2 - - - - -
音響透過損失 (施工現場におけるインテンシティ測定による)
Rr-30 (音響透過損失等級 [JIS A 1419(2000) 附属書 1 による Rr])
T-3 (JIS A4702 による遮音性等級)

※施工現場での測定値であり、保証値ではありません。